

中止と
なった

まちづくり町民説明会の概要をお知らせします

本来2月に開催を予定していた「まちづくり町民説明会」の内容は、右の5つのテーマがメイン。小学校の統合や町営バスの運行、中央公民館の移転などは、当初予算案として町議会3月定例会で可決いただき、4年度に実行していく事業です。本広報では、まちづくり町民説明会の概要版として主にこれからの町の姿や現在検討中であるグリーンバレー神室の運営について紹介します。

【テーマ】

- ① これからの町の姿
- ② 小学校の統合
- ③ 町営バスの運行
- ④ 中央公民館の移転
- ⑤ グリーンバレー神室の運営

これからの 町の姿

2022年 5,098人

2040年 3,549人

人口動態は、財政状況や公共施設のあり方など、まちづくりに大きく影響します。令和4年1月1日現在の町の人口は5,098人（住民基本台帳より）。国立社会保障・人口問題研究所の試算によると、およそ20年後には3,549人になると推計されています。今から変化していく町姿を見越して、行政サービスを検討していく必要があります。

40億円があります。
あなたはどのサービスに
税金を使ってほしいですか？

行政サービスとは、安全で豊かな暮らしを送っていただくための町の事業のこと。当然、皆さんに納めていただく税金や料金を活用しています。仮に40億円があったとします。これは町の1年間の予算規模。皆さんならどのようなサービスに税金を使うべきと考えますか。世代によって必要なサービスは違いますし、考え方も人それぞれかと思います。

【2つのルール】
「公平公正であること」
「赤字にしないこと」

税金によるサービスの内容を考えるとき、絶対に守らなければならないルールが2つあります。1つ目が、公平公正であることです。誰か特定の人だけ優遇されてはいけません。行政サービスは困っている方をしっかりと支えることが前提です。2つ目のルールは赤字にしないことです。一定の赤字を超えてしまうと、国の指定を受けて、一部を除く、行政サービスを一時的に削減する事態に陥ります。

財政状況が良い
長期的に安定した状態

「財政状況が良い」というのは、通常、今後最低10年程度は安定した運営ができる状態であると言えます。借金の返済にも問題がないかどうか、長期的に見て、事業計画を立てます。今年1年は問題がないものの、数年後に問題がある場合は、財政状況が良くないと捉え、改善に向けた取り組みが必要です。現在、金山町は、その将来の見通しが悪く、財政状況は極めて厳しいと言わざるを得ません。

どの程度悪いのか？
何も改善しなければ、
R10年度頃に国の指定

何も改善をしなければ、令和10年度に、国から財政を健全化してくださいという指定を受ける可能性があります。財政再建団体として指定を受けると、税金や料金の値上げ、町独自の子育て支援等の廃止、道路や施設の修繕も必要最低限など、生活に大きく影響する事態となり、一時的に厳しい生活を強いることになります。国の指定を受けることがないように、今後の行政サービスを考えています。



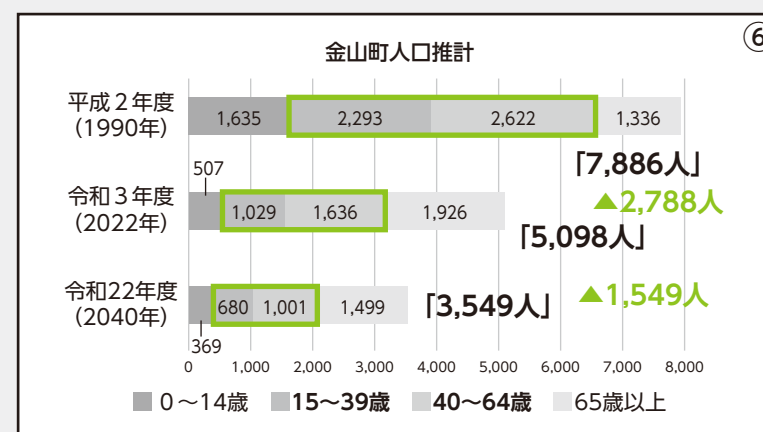
まちづくり町民説明会の内容を「金山町公式YouTubeチャンネル」で配信中です。下記URLまたはQRコードからご視聴いただけます。この機会にチャンネル登録をお願いします！

山形県金山町公式チャンネル

検索



【お問合わせ】役場総合政策課 財政係 ☎52-2111



▲平成2年度に7,886人いた人口が、今年の1月1日現在で5,098人となり、およそ30年前と比べて2,788人が減少しています。また、令和22年度には3,549人になる予測です。65歳以上の人口は、減少しているものの、総数における割合は大きく増加しています。

財政負担だけが問題ではない
人口が減り状況が
どう変化するか

つまり、財政負担だけが問題ではないということです。新しい考え方や取り組みの話になると、お金がなくなったからやめるのか、といった議論になりがちですが、それだけが問題ではありません。今後の人口がどうなっていくのか、どういう人が増え、どういう人が減るのか、これが行政サービスを選択していく最大のポイントです。

40億円が30億円になります。
ただし、道路や水道施設、
高齢者支援分は減らせません。

働く世代が減少するため、そう遠くない未来に予算規模が、40億円から30億円程度になると考えられます。ただし、道路や水道の生活に関わる施設管理は前と同様の負担があります。高齢者の割合が増えるため、介護保険など高齢者支援のサービスは増加する見込みです。こういった見通しを踏まえて、バランスがとれた行政サービスを考える必要があるということです。

将来的には
全ての施設運営やサービスを
今のまま続けることは不可能
「未来のサービス」を選択

将来的には全ての施設運営や町の事業を今のまま続けるということは残念ながら不可能です。町の姿にあった公共施設の数や規模、こういった行政サービスが喜んでいただけるのかを、人口をベースにしたあらゆる分析と検証を行っています。大きな転換期となりますので、町民の皆さんのご意見を反映しながら、これからの税金の使い道と、未来の行政サービスについて、現在見直しを行っていきます。

まちづくり町民説明会の概要

小学校の統合
町営バスの運行
中央公民館移転

小学校の統合

今後の児童数は、令和4年度の220人から、令和9年度には175人と見込まれており、新入生は令和4年度の半分以上の15人になることが想定されています。学校統合により金山で育つ子どもたちが充実した教育サービスを受けられる体制を整えていきます。

① 統合による変更

- ・有屋、明安学区の児童がバス通学に
- ・放課後こども教室は「ぼすと」
- ・小体連陸上 → 新庄市と合同
- ・スポーツ少年団が1つに統合 → 種目の選択肢が増える

大きな変更点として、有屋小、明安小学区の児童がバス通学になることや、体操着が新たなデザインとなることが挙げられます。また、放課後こども教室は、想定される利用人数から「ぼすと」で引き続き実施していくこととしています。明安小学校グラウンドで行っていた小体連陸上大会の代わりに新庄市の大会へ参加することになり、さらにレベルアップした環境で競うことができるようになります。スポーツ少年団については、1つの組織に統合。種目の選択肢が増え、子どもたちの可能性が広がります。

② 明安小、有屋小の活用

- ・避難所
- ・地域活動としての利用
- ・公売の実施

明安、有屋小学校については、これまでの廃校利活用検討委員会でのご意見や区長さん方との話し合いを踏まえて、避難所や地域活動の場所として利用をする一方で、公売を募集する予定です。売却することになった場合でも、引き続き避難所機能は維持できるよう調整していきます。また、草刈や雪囲いなどは町の環境整備業務で対応します。明安小、有屋小における貴重な備品などについては、他の町施設での展示や保管することとしています。

中央公民館の移転

令和3年度に、町民の方々からご参加いただき、今後の中央公民館のあり方検討会を開催。財政負担はもちろん、現在、そしてこれからの利用ニーズや、単体での施設の必要性をポイントに議論してきました。機能的にも問題がないものと判断し、令和4年度9月頃の移転を予定しています。

① 検討結果

- 改善センターへの移転
- 「検診」「子育て支援センター」「体育センター」「やくし苑」「診療所」「避難所」「社会福祉協議会」

中央公民館という単体の建物は置かず、農村環境改善センター（以下、改善センター）へ、教育委員会等の機能を移転する方針としました。建物自体は改善センターという名称ですが、「中央公民館」という看板も同時に掲げることになります。正式な名称については、今後決定します。改善センターは、現在も子どもから高齢者までの健診、隣接する子育て支援センターや体育センター、健康づくりや高齢者の運動の拠点となっているやくし苑、そして近くには診療所があります。

② 「施設の集約化の必要性」

- 管理費を他のサービスへ
- 例：学校統合も集約のひとつ

こういった施設機能の移転を「集約化」と言い、全国的に人口減少に備えて進められています。いわゆるハコモノの施設管理にかかるお金を極力抑えて、ソフトサービスを充実させることが目的です。中央公民館機能を改善センターに移転させることにより、年間の維持管理費を1,300万円程度抑制できるものと見込んでいます。まちづくりアンケート結果のでも施設の集約を進めるべきという声が約9割となり、移転による問題も特にないという回答も約7割となっています。

町営バスの運行

路線バスのサービスが大きく変わります。デマンド交通を開始し、高齢者の方々の交通手段の確保にもつなげていきます。開始当初は現在公用車として使用している乗用車2台を専用車として使用します。

① スクールバス

- 小学生は無料。
- 中学生は有料の路線バス利用。

中学生も無料。同じバスに。

これまで、小学校専用のスクールバスとして小学生のみ無料とし、中学生は有料で路線バスを利用していました。4月からはその利用制限をなくし、中学生も小学生と同じく無料でスクールバスをご利用いただけるように変更します。これにより、保護者の送迎負担をなくし、小学校から中学校まで慣れ親しんだバスでの通学支援を行います。

② 路線バス

- 決まった時間に必ず運行
- 事前予約制のデマンド交通サービスへ

これまで路線バスは、決まった時間に必ず運行していました。4月以降、有屋線は路線バスを継続しますが、有屋線以外の全ての路線については、朝夕のスクールバス時間のみの運行とします。引き続き、混乗は可能とするほか、新たにデマンド交通を開始します。町内の移動について、前日まで電話予約いただくと、1回300円で、ご希望の場所へ行けるようになります。より利用していただけるよう、実施後も改善を加えながら取り組んでいきます。

③ ホール機能、イベントは

- 現在：282席
- 250～300人可能
- 体育センターや中学校体育館使用も

改善センターへ移転すると、大規模イベントができる場所がなくなるのではないかというご意見がありますが、現在の中央公民館ホールの座席数が282席である一方、改善センターホールは300人の収容が可能であり、収容人数はほぼ同じです。移転後、大規模なイベントを行う場合は、これまでのように体育センターや金山中学校の体育館を利用することとしています。

④ 駐車場が狭いのでは

- 現在：60台
- 40台＋建物裏20台
- ＋やくし苑駐車場(予定)

駐車場については、現在の中央公民館が60台、改善センターは建物正面側の40台のほか、建物の裏側にも20台の駐車が可能です。また、令和4年度にやくし苑の入り口付近にも駐車場を増設する予定ですので、通常のご利用には問題がないものと考えています。冬場の除排雪もご不便のないように対応をしていきます。

⑤

- ・調理室 → やくし苑・金山中・木もれび館
- ・和室、研修室、多目的ホール → 芸術文化団体の活動拠点
- ・体育施設のカギ → 入り口すぐの窓口で受取り

健康づくり事業などで実施している調理実習の場所は、やくし苑の調理室を代替場所として充実させる予定。また、芸術・文化団体の活動場所としての和室や会議室は、同程度の広さを確保できます。体育センターや学校体育施設、町民グラウンドなどの鍵の受渡しは、改善センター入り口すぐの社会福祉協議会の窓口で夜間も対応をしていきます。社会教育や伝統芸能の継承は場所を選ばずとも継続・充実をしていけるものと考えています。

ご意見をお寄せください

グリーンバレー神室の運営

まちづくり町民説明会の概要

①
グリーンバレー神室
平成元年 スキー場
平成4年 ホットハウス
平成10年 シェーネスハイム
＝第3セクターによる運営

平成元年に神室スキー場、平成4年度にホットハウスカム口、平成10年度にホテルシェーネスハイム金山をオープンし、これまで町の観光やレクリエーション及び交流の拠点施設として、大きな役割を果たしてきました。ホットハウスカム口とホテルは町とJRによる第3セクター方式での運営。周辺市町村の人口減少が続く中、スキー客の減少やコロナの影響による宿泊客の大幅な減少など、マイナス要素が拡大し、経営状況が厳しい状況です。

②
ホットハウスの課題
「**建物の改修が必要**」
建替え＝6億円
改修＝1億5,000万円

グリーンバレー神室一体については、来客数の減少や収支状況の悪化など、多くの課題がありますが、施設の老朽化も喫緊の課題です。特にホットハウスカム口は、老朽化に伴い施設の安全性について指摘されています。浴室内の腐食状況からも、令和4、5年度が現施設で営業できる限界と考えられ、継続するには建替えもしくは大規模改修が必要です。新たに建替えをする場合、事業費が約6億円、改修については、手法によって1億5千万円程度と試算されています。

⑥
改善案
①全施設継続
②ホテル・レストラン・温泉を継続（スキー場は譲渡か廃止）
③ホテル・レストランを継続（温泉、スキー場は譲渡か廃止）
※①と②は温泉を1.5億円で改修

今後のグリーンバレー神室の運営について、令和7年度的高速道路開通に向けた町外からの集客拠点としての役割も見据え3つの案を検討しています。①1億5千万円で温泉を改修し全ての施設をそのまま継続②1億5千万円で温泉を改修し、スキー場を売却もしくは廃止、ホテルは継続③ホテル・レストランは継続、温泉やスキー場は売却もしくは廃止。

7月を目途に、町の方針を町民の皆さんにお知らせし、パブリックコメントを募集する予定です。

⑦
運営支援の基準案
「**他のサービスに影響を与えない**」
現在 1億円～1億5千万円
→ **3千万円**

グリーンバレー神室は、収益事業であるため、本来はその収入により事業運営していく必要があります。町としては今後の運営支援の基準として、今までと同じ支援は継続できないことから、教育や福祉など、他のサービスへの影響を少ない金額に設定する必要があります。具体的にはグリーンバレー神室全体に対して、現在、年間1億円程度の予算を投入していますが、これを3千万円に抑える必要があると試算しています。

⑧
町の主な単独事業（R3当初予算額）
①単独ソフト事業 3億4,707万円
・医療費無料化2,922万円 ・出産祝い金490万円
・入学祝い金660万円 ・通園費助成金337万円
・高齢者インフルエンザ予防接種193万円
・小児等インフルエンザ予防接種100万円
・プレミアム付き商品券発行事業費補助金1,145万円
・道路橋梁整備3,607万円 ・町道除雪事業6,266万円
・消防団活動地域防災事業770万円
・教育支援事業6,484万円（イザベラ塾160万円）

今後の人口推移から見ていくと、町単独の事業の中から約2億円を削減する必要があります。令和3年度当初予算ベースで、削減可能性のある単独ソフト事業は3億4,707万円となっています。高校生までの医療費無料化や出産祝い金などの子育て支援事業や町道除雪事業、子どもたちのための教育支援事業など、その内容は多岐にわたり、多くの町民の皆さんに影響している部分です。

③
源泉の課題
「**湯量**」「**温度**」の問題
湯量 毎分12ℓ
温度 26.5℃（基準25℃）
基準成分 フッ素

さらに、温泉にかかせないお湯にも問題があります。温度が25℃以上、もしくは19ある基準成分のうち一つでも一定以上含んでいると、温泉として認められますが、昨年11月に実施した調査結果では、湯量が毎分12ℓ（これはホースからちょろちょろと出る程度の量）、温度が26.5℃、基準を超えた成分はフッ素のみでした。源泉としては、何とか認定できる状態で、掘削した当時の平成26年度と比較すると湯量も減少しており、今後お湯が枯れることも心配されます。

④
経営の見通し
・コロナの影響
・年間9千万円～1億5千万円の運営支援が必要
≠事業の収入力

全国的にも有名な温泉地やスキー場の廃業が続いています。グリーンバレー神室も現状の運営を維持するためには、町から多額の支援が必要な経営状況です。町としても、ホテルの割引キャンペーンやリフトの無料化など、誘客対策を講じてきましたが、大きな成果はでていません。加えて、ホットハウスの改修、ホテルのユニットバスの更新や外壁等の塗装、スキー場のナイターLEDや圧雪車の更新、リフト改修、源泉が枯渇した場合の再掘削などに対応するとすると、更なる維持経費が掛かる見込みです。

⑤
専門家の分析と提案
①赤字圧縮が必要
②損益3,000万円の改善は可能（コロナ前の条件で）
③スキー場撤退等による再生

このような状況をなんとか改善できないかと、専門家から経営分析と事業提案をいただきました。その内容が、①赤字幅が大きすぎる②グランピングや新たな魅力づくりにより、コロナ前よりも来場客を増やし、単価を上げることで3,000万円程度は経営改善が見込める③スキー場の赤字解消は難しいため、スキー場事業は縮小が望ましいということでした。アクセス、立地、観光資源については専門的にみると評価が低いものと診断されました。

⑨
町の主な単独事業（R3当初予算額）
②金山診療所の運営 1億1,432万円
③人件費 7億5,220万円
・職員報酬4,916万円 ・特別職一般職給料5億7,079万円
・会計年度任用職員報酬1億3,225万円
④グリーンバレー神室事業 9,800万円
・スキー場3,500万円 ・キャンプ場等夏場運営2,500万円
・ホテル1,300万円 ・ホットハウスカム口2,500万円

町立金山診療所の運営支援や職員等の人件費も町単独の持ち出しになります。子育て支援、産業振興、教育、除雪、グリーンバレー神室の運営、必要なサービスや考え方は、人それぞれ違います。何が正解かという選択は、極めて難しい判断となりますが、「町民の生活にとってマイナスにならないこと」を最も大切な基準として、可能な選択をしていきます。

⑩
町の方針
施設と収益事業の見直し
▼
福祉、教育、子育て、産業、除雪の維持

単独事業の優先順位として、町の方針は、グリーンバレー神室などの利益を上げなければならない事業を、しっかりと見直すことが前提であると考えています。そして、福祉、教育、子育て、産業、除雪など、現在の生活支援のサービスを可能な限り充実させたいと考えています。町民アンケートでも、教育や子育て、除雪、介護や高齢者福祉の充実を望む声が多い結果でした。ちゃんと生活ができ、住み心地のよい町づくりを行っていきます。

⑪
ご意見を
「税金の使い道」
「若い世代へつなぐ」

これからのまちづくりについて、いづれも将来を見据えた前向きな見直しと捉えたものと考えています。そこには有利な財源は何か、新たな収入を確保できないか、様々なシミュレーションをしています。時代の変化に合わせて、町民の皆さんからいただく税金をより生活に密着した事務・事業に活かしていきます。今はもちろんですが、5年後、10年後の世代の方々に負担を残さないサービスの在り方を考え、今後ともご意見をいただきながら進めていきたいと考えています。



グリーンバレー神室の検討状況については町ホームページにも詳しく掲載しております。ぜひご覧いただきご意見をお寄せください。